

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	株式会社ドロップ
取組	2) 地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	7名(うち、女性の人数:6名)(令和4年5月3日時点)

1 事業実施方針

<p>① 社内プロジェクトチームの立ち上げ 弊社は 2022 年 3 月に農場直売所をオープンした。 これまでは会社役員内で商品ラインナップを決定し、従業員には選択肢を与えて選んでもらう程度であった。今回のプロジェクトチームの立ち上げにより、特に女性の消費者目線を生かした商品開発を、従業員、顧客様を巻き込んでゼロから開発することによって、弊社に所属する女性農業者のスキルアップを目指すとともに、顧客様に一つの農場を一緒に作り上げてもらう感を体感してもらうことで、農業に興味をもつだけでなく「関係人口」を増やすことが可能である。直売所でトマトを販売するにあたり、<u>生のトマトの商品販売アイテム数の増加(現状 8 点→目標 15 点) カフェメニュー開発(現状 0 点→目標 5 点以上)を成果目標とする。</u></p> <p>② 課題解決型の取り組み 今回のプロジェクトは課題解決型の取り組みとなる。 現在の商品ラインナップは、ブランドイメージの構築を目的として揃えてきたが、活用シーンが限られている。例えば、トマトの赤をメインにしたギフトパッケージがメインであるため、お見舞いのシーンに向く商品が無いことや、贈答品として最上級のランク(包装紙、熨斗紙)などの商品パターンも弱い。顧客の日常をイメージし、様々な生活シーンに寄り添った商品ラインナップを今回のプロジェクトで開発していきたいと考えている。 また、弊社の一番の課題は、トマトがなくなる夏の期間の仕事の減りである。 パートスタッフに関しては、植え替えの時期である 8.9.10 月は仕事が激減し、収入が減ってしまうという課題がある。カフェメニューを提供することにより、パートスタッフの仕事を増やしたいと考えている。</p> <p>② 女性が活躍する農場としてのモデルケース 当農場は女性が輝ける職場として開設された農場であり、(現在は全従業員 28 名の内 24 名が女性) これまでも多くのメディアに「女性が働きやすい職場」として取り上げられてきた。今回、社内にプロジェクトチームを立ち上げて新商品開発を行うということは、働きやすさだけでなく、本当の意味での「輝く」につながると考えている。 弊社でこのようなモデルケースができ、情報発信をしていくことにより、全国各地の農業経営者にも、女性の活かし方のヒントを提供できるのではないだろうか。 モデルケースとしての役割も忘れることなく事業に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>④地域の把握分析</p>
--

近隣にカフェ等がない割に、保育園や小学校などはあるため、ママ友が集まる場所がないという声を多く聞くとともに、コロナ過でなかなか飲食店に集まることが出来ない状況から、弊社でカフェメニューを出し、屋外の芝はりのテラス席を提供することによって子育て中の女性たちの、リフレッシュの場を提供することが可能となる。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

社内プロジェクトメンバー	
代表取締役 プロジェクトリーダー	元広告代理業、販売の視点からこれまでの商品ラインナップの発案、決定を行ってきた。
直売所店長 プロジェクト経理担当	接客業、事務職など長年にわたり経験済み。経費精算を担当。
商品開発リーダー	将来、カフェの経営を目指し、製菓学校に通いながら弊社に勤務。カフェメニュー商品開発には自信がある。
商品開発	主婦だった期間も長く、消費者目線をしっかり持ったスタッフ。お客様目線での発言に期待できる。
SNSマーケティング	普段は作業場チーフであるが、元アパレル店員ということとSNS世代ど真ん中であることから、SNSでの情報収集担当。
顧客管理	弊社の顧客様とのofficiallineaccountを使用してのやり取りを担当。顧客様参加の際のやり取りを主に担当する。
新事業開発担当	最年長60歳であるが、様々な企業で新規事業開発を担当。弊社での新商品開発について、冷静な視点でのアドバイスに期待。
第三者機関	
県央農林事務所 水戸普及センター	
茨城県 農産加工指導センター	
水戸保健所 衛生管理課	
弊社顧客様	

第三者機関については、2021 年から取組中のジュース工場の技術指導で連携済みであるため、今回の事業についても相談可能な状態となっている。

弊社顧客様については現在LINEにて 300 名ほどつながっており、プロジェクト参加メンバーをofficialaccountとチラシにて募集する。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
① 各種講演150件程度実績。 ② 農林水産省農業の働き方改革検討委員、茨城県総合計画審議会委員、茨城県ダイバーシティ推進アドバイザーなどに就任。代表が自社の取り組みをオープンにすることで、新規就農の一つのモデルケースとして参考にしてもらっている	弊社をきっかけに就農する女性農業者を10名出すことが目標。現状把握している時点で3名。	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
① できることが多くなれば給与UPが目に見える人事評価制度や、日々の交換日記システム、たまにしか出勤できない女性農業者のための、聞きにくいことを解決できるマニュアル作りなどを通して定着を図っている。	① 2015年以來、離職率5パーセント未満。② 今後は事業拡大もあるため、多様な人材確保の観点から離職率10パーセント未満を目標とする。	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
① 生産から販売までの過程を生産スタッフにもかかわってもらうことでの、消費者目線を意識した「生産」意識の構築。 ② 地元の学生の視察受け入れによる、学生たちの将来の選択肢に農業を検討してもらうきっかけづくり。	① 生のトマトの商品販売アイテム数の増加(現状8点→目標15点) カフェメニュー開発(現状0点→目標5点以上) ② 年1回	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	直売所をオープンしたものの、まだ商品数が少なくパターンが弱い。
②	直売所をつくったものの、夏の時期はトマトジュースしかなくなり、売り上げ減が見えている。
③	パートスタッフの8.9.10月の仕事が少ない。

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	生のトマトの商品販売アイテム数の増加
②	カフェメニュー開発
④	パートスタッフの8.9.10月の仕事を増やす。

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	現状 8 点→目標 15 点※パッケージの開発、試験販売により商品数を増やす。
③	現状 0 点→目標 5 点以上※トマトがない夏の時期に展開するメニューを開発する。
③	2023 年夏からカフェ機能を本格稼働するにあたり、2022 年 8 月時点で試運転が目標。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年7月	対象者：グループメンバー7人 サンプルの取り寄せ、選定。トマトの収穫開始である10月から販売マーケティング。10月中に新商品選定。	消耗品費 137,228	ネットでの購入想定物一覧を提出。 見積もり①
②	2022年7月	対象者：グループメンバー7人 カフェメニュー開発における食材、資材を一斉取り寄せ。ドリンクメニューを主とするため、コーヒー関係とサイダー関係、ソフトクリームアレンジ品を想定して発注。 かき氷レシピの作成 7月中に顧客様にも募集をかけ、会議に参加してもらう。8月中にはメニュー決定。	消耗品費 93,713（食材費） 消耗品費 46,009（パッケージ） 消耗品費 74,082（食材費） 謝金 72,000	ネットでの購入想定物一覧を提出。 見積もり②③⑥
③	2022年7月	カフェメニューアドバイス会議	謝金 50,000	見積り⑤参照
④	2022年9月	保健所への申請が通り次第 土日のみでの試運転を開始。 折込チラシにて、マーケティング販売の案内。お客様に来店いただき、販売数の分析によりメニューの再検討。		

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	3 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者	人、雇用就農者
人	人、アルバイト・ボランティア等
	3 人

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。